

平成30年度 保健体育科 保健分野、体育理論 年間指導計画 第一学年（男子）

担当 長谷川 大祐

学期	月	単元名	時数	学習内容	評価の観点と評価規準		
					評価資料・評価方法等		
					関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
1 学期	4～7	スポーツの始まりと発展	1	○運動やスポーツは、体を動かしたり、健康を維持したりするなどの必要性や、競技に応じた力を試すなどの楽しさから生みだされ発展してきたことを理解する。	○運動やスポーツが多様であること、運動やスポーツの意義や効果などについて関心をもち、学習に積極的に取り組むことができる。	○運動やスポーツが多様であること、運動やスポーツの意義や効果などについて、学習した知識を活用したり、応用したりすることができる。	○運動やスポーツが多様であること、運動やスポーツの意義や効果などについて理解している。
		スポーツへの多様な関わり方	1	○運動やスポーツには、行うこと、見ること、支えることなどの多様ななかかわり方があることを理解する。			
		スポーツの学び方	1	○運動やスポーツには、特有の技術や戦術があり、その学び方には一定の方法があることを理解する。			
2 学期	9～12	心の発育・発達	1	○身体には多くの器官が発育し、それに伴い、様々な機能が発達する時期があることを理解する。			
		呼吸器・循環器の発育・発達	2	○発育・発達の時期やその程度には、個人差があることを理解する。			
		性機能の成熟	2	○思春期には、内分泌の働きによって生殖にかかわる機能が成熟することを理解する。			
		異性の尊重と性情報の対処	2	○成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要となることを理解する。			
		知的機能の発達	1	○知的機能、情意機能、社会性などの精神機能は、生活経験などの影響を受けて発達することを理解する。			
3 学期	1～3	情意機能の発達	1	○知的機能、情意機能、社会性などの精神機能は、生活経験などの影響を受けて発達することを理解する。	○心身の機能の発達と心の健康について関心をもち、学習活動に意欲的に取り組むことができる。	○心身の機能の発達と心の健康について課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、科学的に考え判断し、それらを表すことができる。	○身体機能の発達、生殖にかかわる機能の成熟、精神機能の発達と自己形成、欲求やストレスへの対処と心の健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。
		社会性の発達と自己形成	2	○思春期においては、自己の認識が深まり自己形成がなされることを理解する。。			
		心と体の関わり	2	○心と体が影響し合う心身相関の仕組みについて理解する。			
		欲求不満への対処	1	○精神と身体は、相互に影響を与え、かかわっていることを理解する。			
		ストレスへの対処	2	○欲求やストレスは、心身に影響があることを理解する。 ○心の健康を保つには、欲求やストレスに適切に対処する必要があることを理解する。			
					評価資料・評価方法等		
					・学習活動の観察 ・提出物	・課題 ・小テスト ・学習活動の観察	・定期考査 ・小テスト